

# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

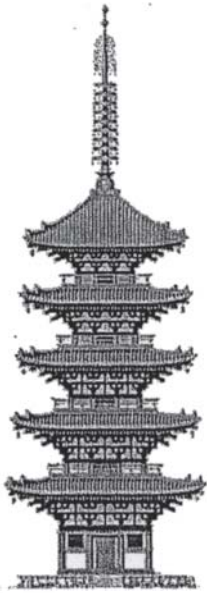
あけましておめでとうござい  
ます。かわら版も足かけ八年目  
今年はお釈迦様の生涯をお伝え  
します。ご愛読のほど、よろし  
くお願いいたします。

## ★ シャークヤ国のお釈迦様

お釈迦様は今から約二千五百  
年前、紀元前四六三年にインド  
の北部、ネパールとの国境近く  
のシャークヤ国で生まれました。  
のちに中国でシャークヤ国のこ  
とを釈迦国と表記するようにな  
ったため、お釈迦様と呼ばれる  
ようになりました。

お釈迦様の本名は、サンスク  
リット語でガウタマ・シッター  
ルタ、パーリ語でゴータマ・シ  
ッター。

サンスクリット語で伝わった  
北伝仏教(インドから陸路中国  
に伝わった仏教)は大乗仏教、



パーリ語で伝わった南伝仏教(イ  
ンドから海路東南アジアに伝わ  
った仏教)は小乗仏教のルーツ  
です。

## ★ 白い象とマヤー夫人

お釈迦様の父はシュッドドーダ  
十王、母はマヤー夫人。

ある時、夫人が不思議な夢を見  
ました。六本の牙を持つ白い象が  
兜率天(とそつてん)という天界  
から舞い降り、夫人の右脇から体  
内に入りました。夢占い師にこの  
話をする、「偉大な子どもを身ご  
もった」と告げられます。

夫人は隣国のコーリヤ国の出  
身。出産のための里帰りの途上、  
ルンビニーという花園で休息中、  
季節外れのアシヨールカ樹の花を  
見つけます。

夫人が何気なくそのアシヨール  
カ樹に触れると、右脇が七色に  
輝き出し、光の中から子どもが  
誕生しました。

## ★ 天上天下唯我独尊

子どもはすぐに立ち上がり、

七歩前に進んで、右手で天を、  
左手で地を指し、「天上天下唯  
我独尊(てんじょうてんがゆい  
がどくそん)」と言ったと伝え  
られています。

もちろん「世界中で自分が一  
番偉い」という意味ではありま  
せん。「生老病死(しょうろう  
びようし)の苦しみから人々を  
救えるのは自分だけ」という意  
味であり、未来の仏様としての  
宣言でした。

お釈迦様誕生は四月八日。こ  
の日は、お花祭り、灌仏会(か  
んぶつえ)、降誕会(ごうたん  
え)と呼ばれ、誕生仏に甘茶を  
かけて祝います。

お釈迦様が誕生した時に、甘  
露の雨と美しい花が天から降っ  
てきたという故事に因みます。



灌仏会(かんぶつえ)を祝う

## ★ シュラマナ(沙門)

当時のインドは外来のアーリ  
ア人が支配し、ヴァルナ(四姓  
||ししょう)制度が定着。のち  
のカースト制度です。

バラモン(司祭)、クシャト  
リヤ(王族)、ヴァイシャ(庶  
民||農工商)、シュードラ(奴  
隷)の四姓。アーリア人はバラ  
モンであり、彼らの間で普及し  
ていたのがバラモン教。のちの  
ヒンドゥー教です。お釈迦様は  
王族ですからクシャトリヤでし  
た。

この時代、富を蓄えた商人が  
力を持って長者と呼ばれ始め、  
王族とともに社会の上流階級を  
形成。この層がバラモン教にと  
らわれない新しい文化や思想を  
生み出す原動力となります。  
その中心となったのが出家遊  
行(ゆぎょう)して各地を回る  
シュラマナ||沙門(しゃもん)  
と呼ばれる修行者。この沙門は  
のちにお釈迦様の出家と大きく  
関わります。

## ★ 王子の出家

何の不自由もない王子の身分  
で誕生したにもかかわらず、お  
釈迦様はやがて出家します。  
来月は出家に至るお釈迦様の  
悩みをお伝えします。乞う、ご  
期待。

